社会資本総合整備計画（活力創出基盤整備）
事後評価書

計画名称：呉市所管のみなと整備による利便性・安全性の向上（地域活性化）

平成２８年１１月
呉市産業部港湾漁港課

（様式２）

社会資本総合整備計画（活力創出基盤整備）　事後評価書

修正　平成28年11月 4日
平成28年 9月 8日

計画の名称	1　呉市所管のみなと整備による利便性・安全性の向上（地域活性化）		
計画の期間	平成22年度　～　平成26年度	交付対象	広島県呉市

計画の目標

・阿賀地区の船だまり整備及び港湾施設の改良を行い，利用者及び地域住民の利便性・安全性の向上を図る。

計画の成果目標（定量的指標）

・阿賀塩谷地区船だまりを整備することにより，阿賀地区における船舶の係留施設不足の解消を図る。

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値 当初現況値（H22当初）	中間目標値（H24末）	最終目標値（H26末）	備考
阿賀地区の船舶の係留施設不足の調査 （船舶の係留施設不足割合）＝（船舶の係留施設不足数／船舶の計画係留施設数）	40.4%	26.8%	26.8%	1-A-1

全体事業費 上段：計画　下段：実施	合計 （A＋B＋C）		A		B		C		効果促進事業費の割合 C／（A＋B＋C）	
	1,438百万円 (1,183百万円)		1,338百万円 (1,183百万円)		0百万円 (0百万円)		100百万円 (0百万円)		7% (0%)	

事　後　評　価

○事後評価の実施体制，実施時期

事後評価の実施体制

実績により評価を行い，評価の透明性，客観性，公正さを確保するため，呉市公共事業評価委員会による審議を実施

事後評価の実施時期

平成28年11月4日

公表の方法

呉市のホームページで公表するとともに，窓口での閲覧を実施

１．交付対象事業の進捗状況

交付対象事業

A　基幹事業（港湾事業）

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別①	種別②	要素となる事業名	事業内容（延長・面積等）	港湾・地区名	事業実施期間（年度）　上段：計画　下段：実施 H22	H23	H24	H25	H26	全体事業費（百万円）	備考（実績）
1-A-1	港湾	内地	呉市	直接	－	重要	建設	船だまり整備　防波堤	水深D=3.0m，延長L=120m	呉港・阿賀塩谷地区						219.0	217.349
								船だまり整備　物揚場	延長L=300m							955.0	802.186
								船だまり整備　泊地	面積A=0.1ha							87.0	87.369
								船だまり整備　護岸【防波】	延長L=200m							77.0	76.068
															合計	1,338.0	1,182.972

B　関連社会資本整備事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別①	種別②	要素となる事業名	事業内容（延長・面積等）	市町村名	事業実施期間（年度） H22	H23	H24	H25	H26	全体事業費（百万円）	備考（実績）
										合計						0	

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考

C　効果促進事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）　上段：計画　下段：実施 H22	H23	H24	H25	H26	全体事業費（百万円）	備考（実績）
1-C-1	港湾	内地	呉市	直接	—	建設	ホイスト整備	水深D=3.0m，陸上船置場整備	呉港・阿賀塩谷地区					▬▬	100	0.000
														合計	100	0.000

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
1-C-1	阿賀塩谷地区の船だまり整備(1-A-1)に隣接した当該区域にホイスト等を整備する事により，船舶の修繕が可能となるため，船だまりの整備効果をより促進させる。	

※交付対象事業については，できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2．事業効果の発現状況、目標値の達成状況

Ⅰ定量的指標に関連する交付対象事業の効果の発現状況

指標：阿賀地区の船舶の係留施設不足の調査（係留施設不足割合の減少）

→　不測の事態により進捗が遅れるとともに，供用方法について見直した結果，効果の発現ができていない。
※なお，平成26年度事業において繰越が発生しており，これを含め達成出来ていません。

Ⅱ定量的指標の達成状況

指標①（不足割合）			目標値と実績値に差が出た要因
最終目標値	26.8%		計画策定当初よりタイトな工程であり，発注方法を工夫するなど可能な限り事業期間の短縮を図り，効果発現に向け事業を進めてきたが，期間中に発生した様々な不測の事態により，事業の進捗に遅れが生じた。 【発生した主な不測の事態】 ・　泊地浚渫において発生する濁りに対し，汚濁防止膜による対策を実施していたが，予想以上に土壌が悪く一定の海域において若干の濁りが発生した。時期が漁期と重なっていることもあり，影響を考慮して，施工時期を遅らせることとした結果，進捗に遅れが生じた。 ・　鋼管杭の施工にあたり，現地再調査の結果，支持層が当初の想定線より深い位置であることが判明，設計見直しを要することになり，進捗に遅れが生じた。 ・　鋼矢板打設において，想定外の転石等があり，これにより発生する振動・騒音問題について，周辺住民等との調整に日数を要する結果，進捗に遅れが生じた。 これらの事態に対して，部分供用を想定し，事業を進めてきたが，安全性及び作業性について再検討した結果，ホイストを含めた全整備完了後に供用するのが妥当であると判断し，方針を見直した。 結果，効果発現に至らなかった。
最終実績値	40.4%		

Ⅲ定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況（必要に応じて記述）

平素の利用は出来ないまでも，一定の整備を終えたことで，台風時等の一次避難港として活用している。

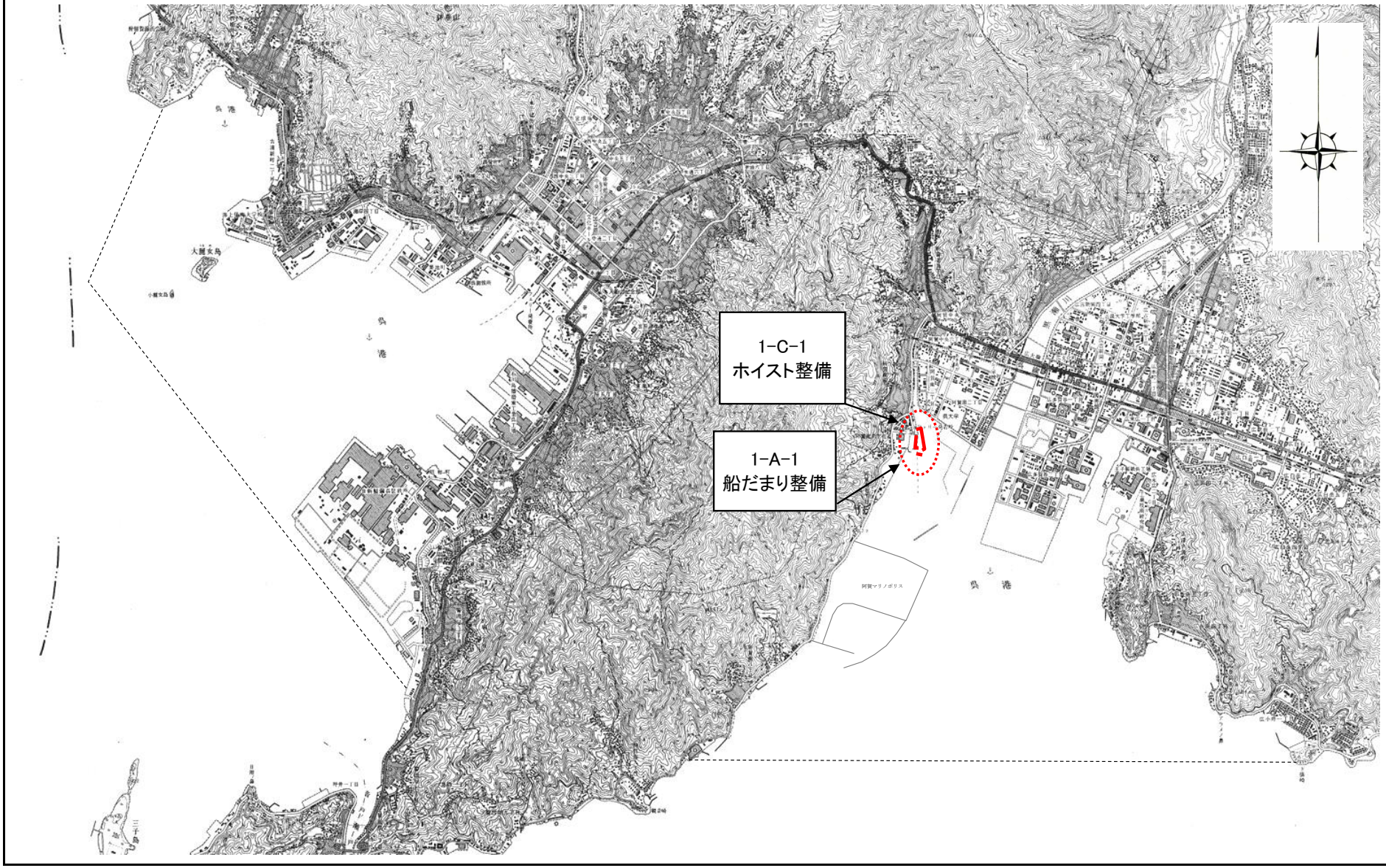
3．特記事項（今後の方針等）

交付金事業として，投資に対する効果がよりわかりやすくなるよう，指標及び目標値等について検討する必要がある。
交付金を活用する上で，円滑な事業進捗が図られるよう，工程について充分な事前検討が必要である。
現在事業中の計画（平成27～30年度）において，「阿賀地区の船舶の係留施設不足の調査」（係留施設不足割合の減少）指標に係る実績値が０％となるよう鋭意に取り組んで行く必要がある。

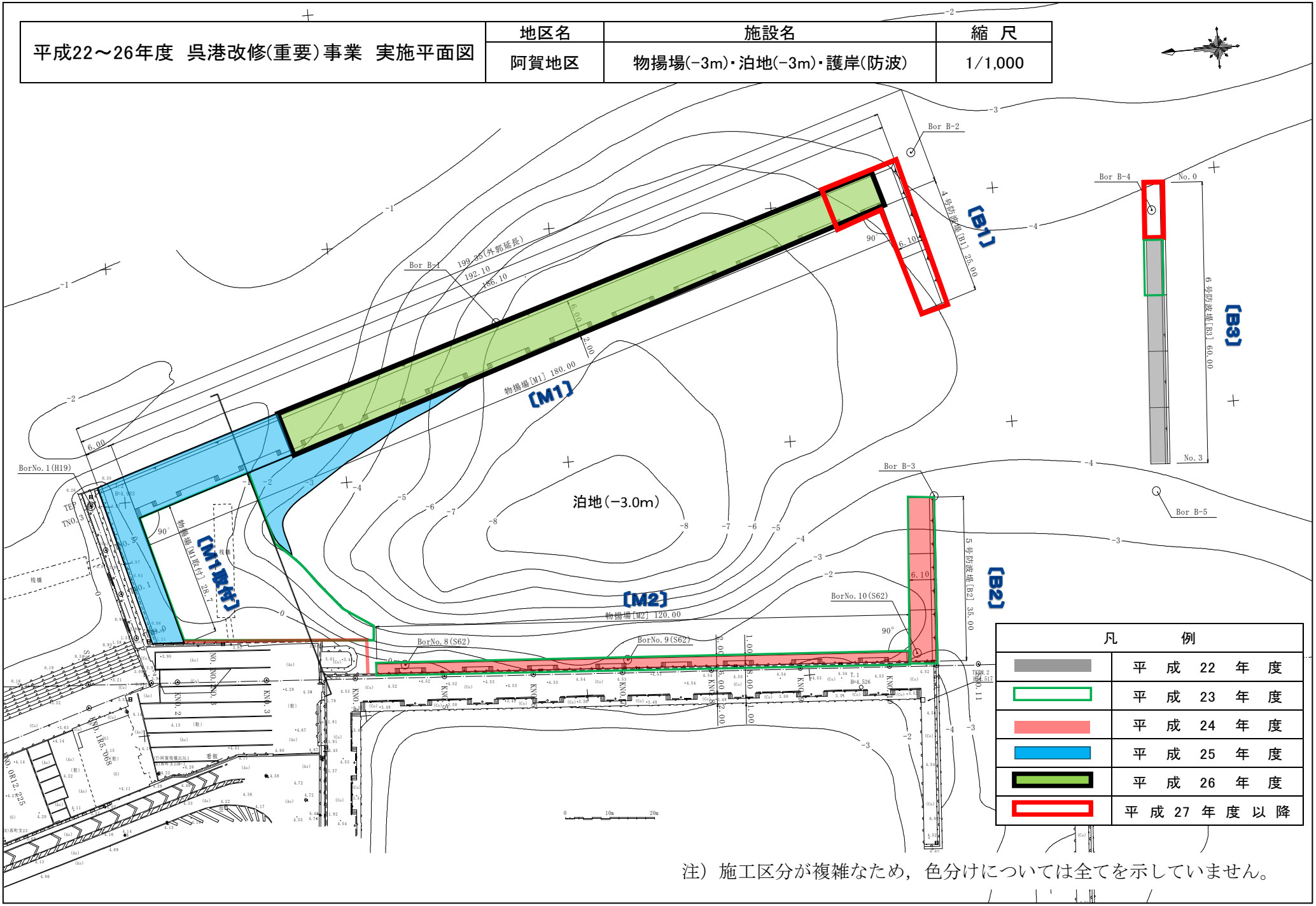
（様式３）

（参考図面）活力創出基盤整備

計画の名称	1　呉市所管のみなと整備による利便性・安全性の向上（地域活性化）		
計画の期間	平成22年度　～　平成26年度　（5年間）	交付対象	呉市



平成22～26年度　呉港改修(重要)事業　実施平面図	地区名	施設名	縮　尺
	阿賀地区	物揚場(−3m)・泊地(−3m)・護岸(防波)	1/1,000

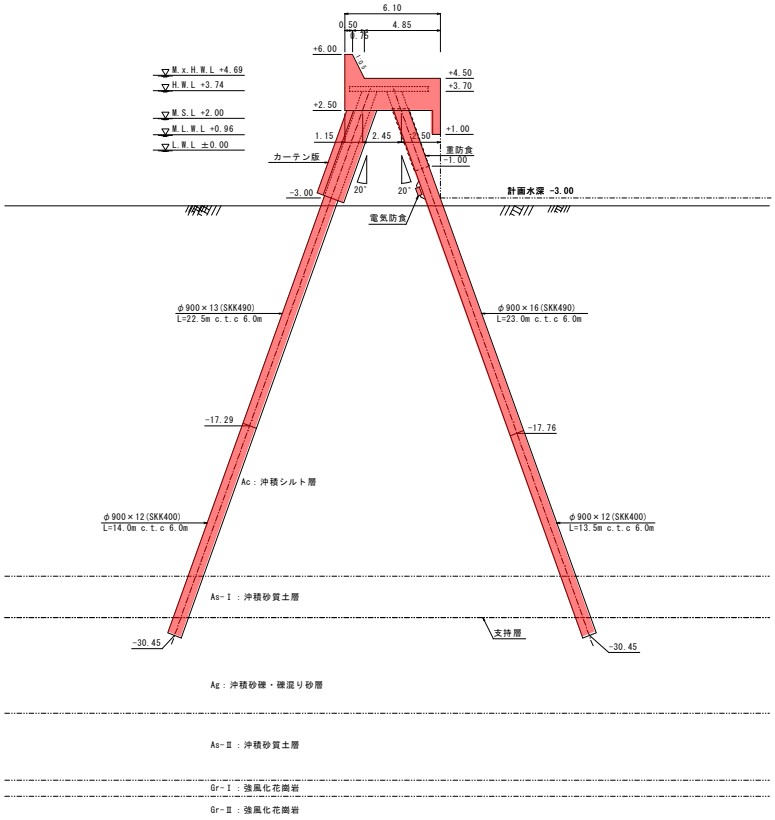


注）施工区分が複雑なため，色分けについては全てを示していません。

呉港阿賀塩谷地区　小型船だまり整備事業　実施計画断面図

S=1/500

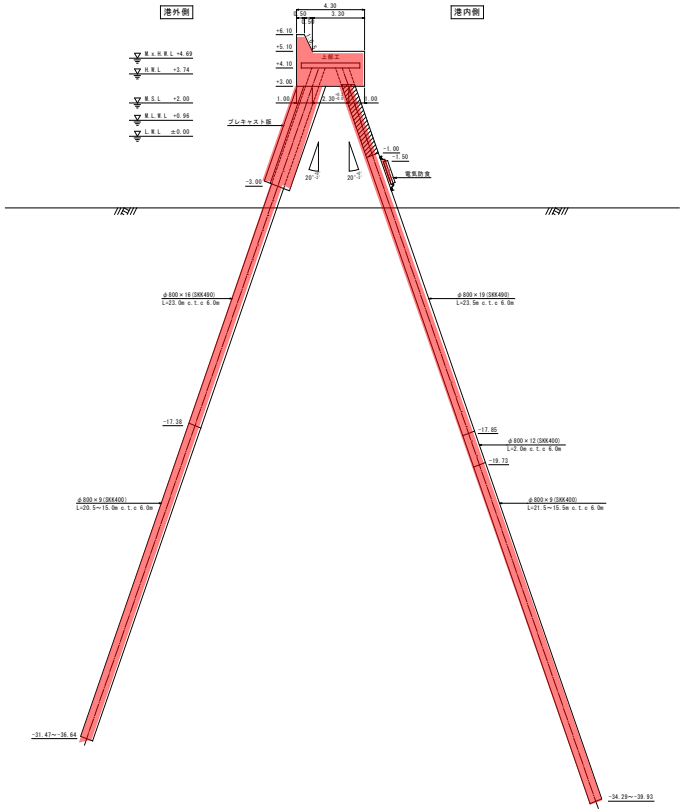
〔 補　防波堤(B2) 〕



呉港阿賀塩谷地区　小型船だまり整備事業　実施計画断面図

S=1/500

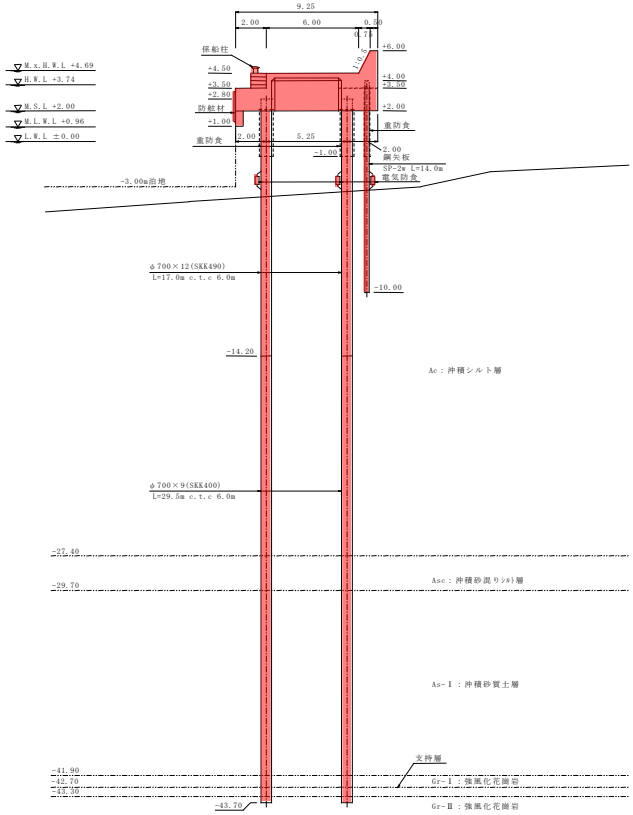
〔 補　防波堤(B3) 〕



呉港阿賀塩谷地区　小型船だまり整備事業　実施計画断面図

S=1/500

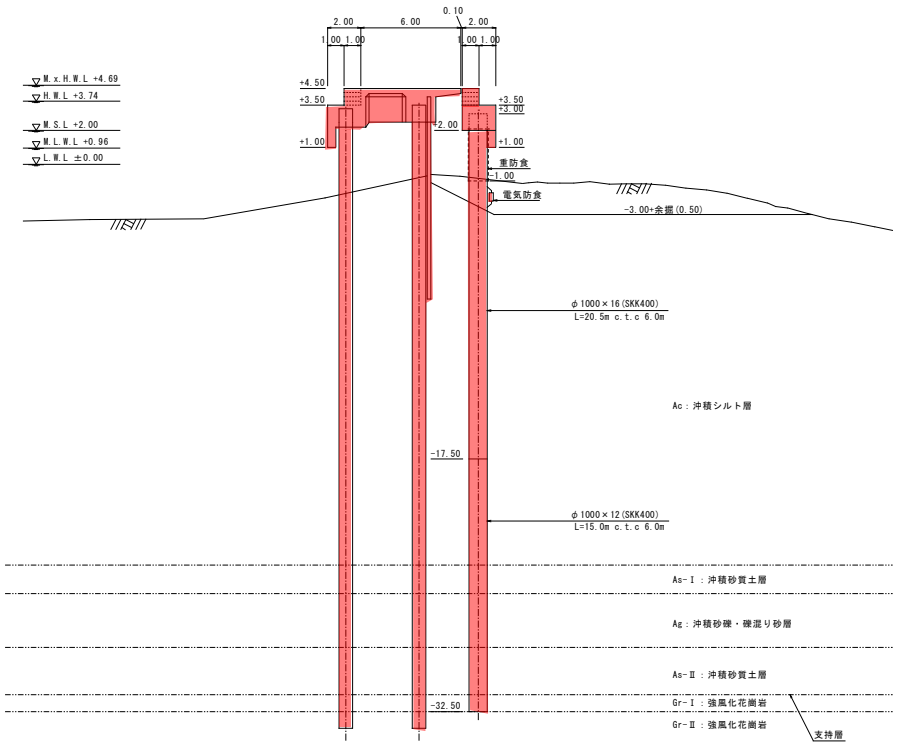
〔 補　物揚場(M1) 〕



呉港阿賀塩谷地区　小型船だまり整備事業　実施計画断面図

S=1/500

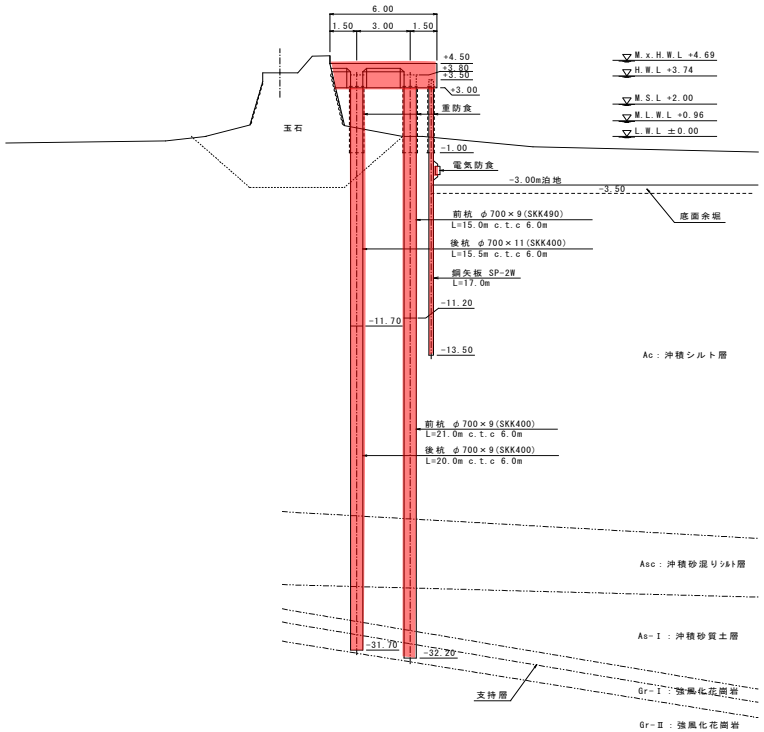
〔 補　物揚場(M2) 〕



呉港阿賀塩谷地区　小型船だまり整備事業　実施計画断面図

S=1/500

〔 補　物揚場(M1取付) 〕



効果促進事業　ホイストクレーン整備

S=1/2500

阿賀塩谷地区　(−3m)
ホイストクレーン整備

【緊急性・必要性】
　現在，阿賀塩谷地区では，船舶の修繕を他の地区で行う必要があり，不経済かつ不効率な活用を強いられている。
　隣接地では，現在，船だまり整備を実施（H21～H26）しており，整備効果をより促進させるため，早急の実施が求められる。

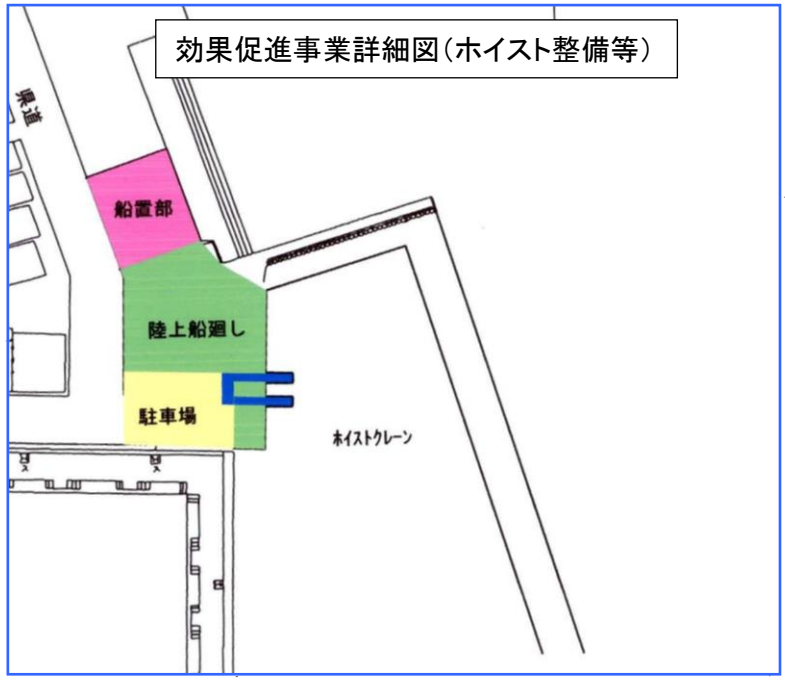
阿　賀　港

阿賀港潮位観測所

延崎小学校

凡　例	
	ふなだまり整備
	効果促進事業
	臨港地区

効果促進事業詳細図（ホイスト整備等）



平成２２年度施工　６号防波堤（Ｂ３）

着工前

完　成

下部工（杭打ち）

上部工（鉄筋工）

平成２３年度施工　５号防波堤（Ｂ２）・６号防波堤（Ｂ３）・物揚場（Ｍ２）

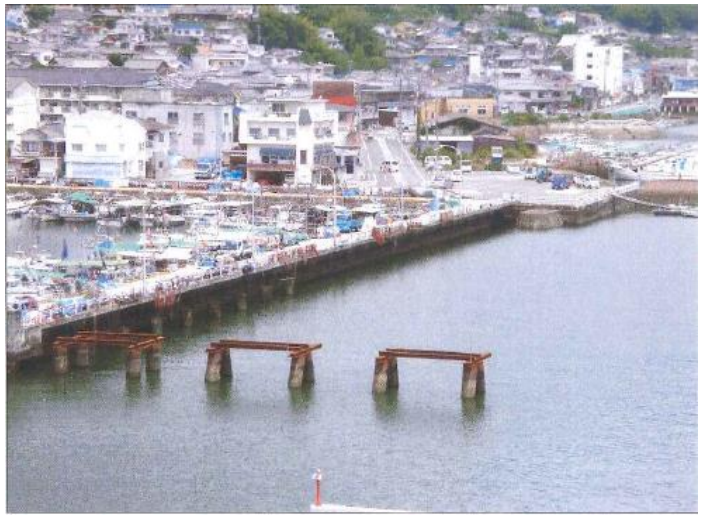
着工前

完　成

下部工（杭打ち）

上部工（大組支保工）

平成２４年度施工　５号防波堤（Ｂ２）・物揚場（Ｍ２）



着工前

完　成

本体工（カーテンウォール工）

上部工（足場，型枠）

平成２５年度施工　物揚場（Ｍ１）・物揚場（Ｍ１取付）

着工前

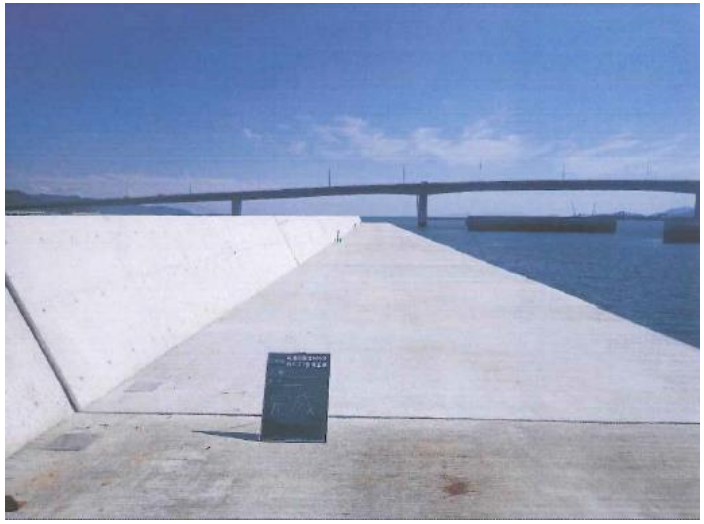
完　成

下部工（杭建込）

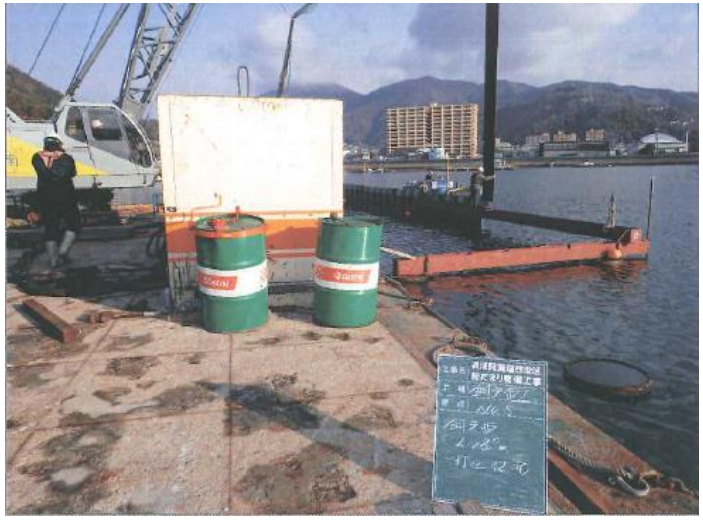
下部工（先行掘削）

平成２６年度施工　物揚場（Ｍ１）

着工前



完　成

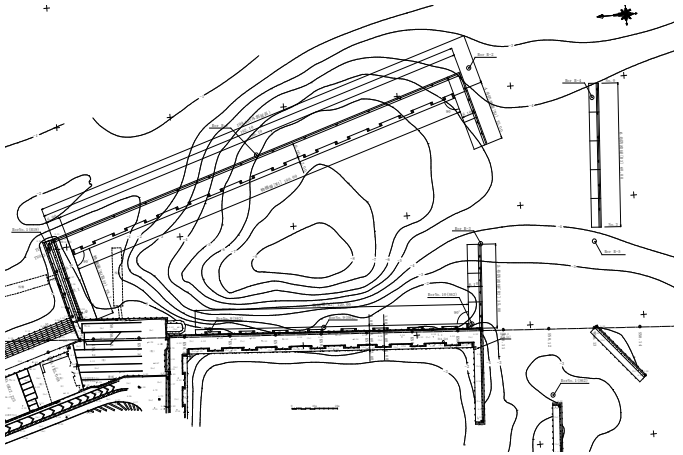


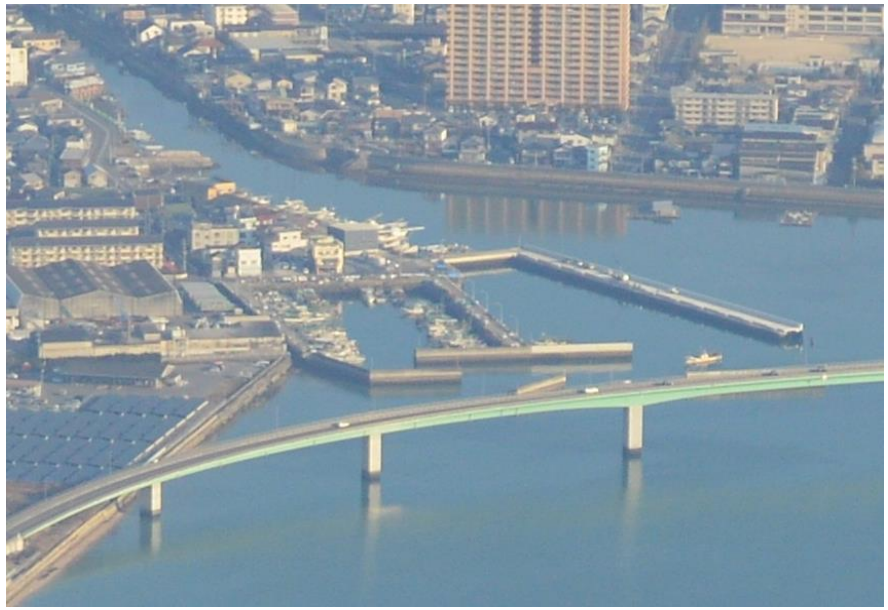
鋼矢板工

上部工（コンクリート打設）

平成２２－２６年度

平成22年度　着工前





平成26年度　完了後